

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺・モビリティ・イノベーション推進事業			事業番号	017-066
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	SMIプロジェクト推進担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3)人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④新たな交通システムの導入		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）		
		寄与するKPI	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)
2	関連計画	施策との関連	有	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
		取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
3	事業開始年度	有・無	無	現状値	—		
		取組	—				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	「交通政策基本法」、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」、「道路法」、「道路交通法」、「軌道法」、「道路運送法」、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、民間企業				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民及び市外からの来訪者	対象数	単位	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ウォカブルな都市空間の形成、回遊性や滞在環境の向上を図り、都心部の活性化と魅力向上につなげる				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>【SMIプロジェクト（素案）の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通や次世代モビリティ等を組み合わせ、便利・快適かつ面的な移動環境の構築やウォカブルな都市空間の形成 ○次世代都市交通の導入、多様なニーズに対応したモビリティの実現など、バリアフリーな移動環境の実現 ○都心と美原を結ぶ拠点間ネットワークの構築 ○公共交通の利用促進や利用転換、公共交通の電動化など、移動の脱炭素化 ○生活利便性や回遊性を高めるCaaS（City as a Service）の導入 <p>【スケジュール】 <令和3年度> ○SMIプロジェクト（素案）の作成・公表</p>				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	民間企業（コンサルタント、バス運行事業者等）				
10	公民連携・協働事業	民間企業との連携、ART導入技術検討体制（今後設置予定）				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和12年度
			目標値	39,400	43,800	—
	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）	人/日	30,842	33,252（速報値）	—	—
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	—	4	
	SMIプロジェクトの実現に向けた取組の実施（市民意見募集、実証実験など）	回	—	1	—	—
当該指標を選定した理由		都心部への来訪者のアクセス拠点である堺東駅・堺駅の乗降客数を確認することで、都心部の活性化状況を把握することができるため				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市基本計画2025において設定しているKPI				
当該指標を選定した理由		SMIプロジェクト（素案）公表後、市民意見募集や実証実験などを段階的に進めることで、SMIプロジェクトの実現につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		今年度予定している取組の件数（市民意見募集、実証実験、委託調査など）				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺・モビリティ・イノベーション推進事業	事業番号	017-066
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	0	24,188	9,966	34,991
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	0	0	24,188	9,966	34,991
14 人件費 (b)	0	10,660	31,160	31,160	31,160
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	10,660	55,348	41,126	66,151

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
新たな交通システムの検討	R3 決算	9,966	9,966		R3 決算		
	R4 予算	0	0		R4 予算		
調査分析等委託	R3 決算	0	0		R3 決算		
	R4 予算	25,751	25,751		R4 予算		
実証実験負担金	R3 決算	0	0		R3 決算		
	R4 予算	9,000	9,000		R4 予算		
会場借上料等	R3 決算	0	0		R3 決算		
	R4 予算	240	240		R4 予算		
	R3 決算				R3 決算		
	R4 予算				R4 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① SMIプロジェクトの実現に向けた取組の実施	回	-	1
② 上記①にかかる年間経費	千円	10,660	41,126
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		41,126,000
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和3年度は、SMIプロジェクト（素案）を公表し、着実に取組を進めた。</p> <p>また、令和4年度に予定している市民意見募集やプロジェクトの推進に向けて、資料作成や関係者との協議・調整等を行うことで、令和4年度以降の事業の効率性を高められるよう取組を進めた。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>基本計画2025に示す施策「人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立」にあたり、SMIプロジェクト（素案）を作成し、公表した。</p>
----	---